

来場者の円滑な輸送を確保するとともに、市民生活や経済活動への影響を最小限に留めることを念頭に、日々の交通状況のモニタリングを行いながら、機動的に万博開催期間中の追加的対策を実施

◆ **追加的対策A**：各事業の工夫により、交通量の状況に関わらず、予め期間を決めて実施する対策

◆ **追加的対策B**：日々の交通状況のモニタリングを行いながら、交通容量を超過する見込みとなった場合に、機動的に実施する対策

※追加的対策のメニュー及び内容については、万博開幕以降も効果的な手法を継続的にブラッシュアップ

<追加的対策の手法>

1) 追加的対策A

対象車両	対策メニュー	内容	効果	実施期間（案）
IR工事車両	休工日の追加	万博来場者が特に多く見込まれる期間について、IR関連工事の休工を増やすなど今後調整	IR工事車両台数を削減	開幕・GW・お盆・閉幕付近
一般交通	舞洲工場の搬入抑制	ごみ収集車両に対して、混雑時間帯に他の工場に搬入するなど、通行台数を抑制	12～36台/hの削減	全期間

2) 追加的対策B

対象	対策メニュー	内容	効果
物流車両	ターミナルゲートの時間延長	時間外にゲートオープンし、物流車両の来場台数を平準化（開幕から数週間実施し、効果把握を行う予定）	昼休み前後等の時間帯の来場台数を平準化
	空コンテナシフト	空コンテナの返却場所を夢洲から咲洲等に一部変更	150台/日削減を想定
IR工事車両	通行ルート・時間帯の変更	容量を超過する見込みのルート・時間帯において、IR工事車両の通行ルート・時間帯を変更	IR工事車両台数を削減
一般交通	働きかけTDM※	・更なる協力をお願いについてTDMパートナー企業等にメルマガ配信や情報提供 ・追加的な情報を府市のHP等に掲載	抑制

※働きかけTDMとしては、一般車両への対策として、開催中、全期間にわたって、TDMパートナー企業等に対し、夢洲周辺や、阪神高速道路の混雑予測情報等を情報提供。

（参考）道路の異常時（陥没・倒木・交通事故による道路施設の損傷などによる通行障害）への迅速な対応を実施（R7.3.2 1 落札予定）
万博会場周辺及び周辺以外における事故発生時の連絡体制を確立